



「日本美しい森お薦め国有林」のご紹介

～やまはしり焼走自然観察教育林（岩手県八幡平市）～

第3回は、東北森林管理局管内の国有林をご紹介します。同局管内では、11箇所のレクリエーションの森が「日本美しい森お薦め国有林」に選定されました。

今回ご紹介する焼走自然観察教育林は、岩手県北西部に位置し、十和田八幡平国立公園を一部含み、岩手県の最高峰である標高2,038mの岩手山を間近に見ることができます。

岩手山麓に広がる焼走り熔岩流は、1700年代の岩手山噴火で流出した熔岩が、幅1km、長さ4kmの規模となつて固まつてできたもので、国の特別天然記念物に指定されています。熔岩流内には全長約2kmの自然観察路があり、壮大な暗褐色の大地と岩手山のコントラストを楽しみながら、植生の変遷途上の様子を観察することができます。希少な場所となっています。第一噴出口跡上部の砂礫地帯には「高山植物の女王」の呼び名で知られているコマクサの群生地があり、初夏には桃色の可憐な花を咲かせ、登山客を迎えてくれます。

周辺のオートキャンプ場のほか、隣接する八幡平地域には温泉郷や多くの高山植物が楽しめる散策コースがあり、幅広い世代に親しまれています。日本百名山の一つでもある岩手山の大自然と歴史を四季の移ろいとともにも満喫してみませんか。



8

August
2017
No.125

〈人事異動〉



林野庁長官 おき しゅうじ
沖 修司

昭和54年名古屋大学農学部卒、農林水産省入省。林野庁国有林野部業務課長、経営企画課長、九州森林管理局長、林野庁国有林野部長、林野庁次長を経て、平成29年7月10日より現職。岡山県出身。

Contents

- 02 「日本美しい森 お薦め国有林」のご紹介
- 03 特集1 木材輸出拡大に向けた取組
- 08 特集2 「祖母・傾・大崩」、「みなかみ」ユネスコエコパークの新規登録が決定
- 11 みどりの女神が行く！
- 12 **がんばる市町村** 自伐型林業を核とした雇用づくりと地域活性化事業 ～高知県佐川町～
- 14 **日本の林業遺産を知ろう！** 屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡
- 16 **国有林野事業の取組** 東日本大震災による被害との闘い
- 18 **森林な人々** NPO法人トチギ環境未来基地 代表 塚本竜也さん